

キンギョソウの年内開花後の夜温管理による3月開花栽培

出口 浩
（長崎県総合農林試験場）

Hiroshi Deguchi :

Culture method flowering in March of common snapdragon by control of night temperature after flowering in December

キンギョソウは、栽培期間を通じて夜温8～10℃で管理するため、通常1番花を年内に収穫すると、2番花は4月以降に開花する。しかし、①4月は価格が低下し収益が不安定である、②4月まで栽培すると、後作として適当な品目がない、③2番花は草丈が150cm程度になりネットが2段必要であり、作業性も低下するという問題がある。

そこで、価格の安定した3月に2番花を収穫できる収益性、効率性、省力性にすぐれた夜温管理技術について検討した。

1. 材料および方法

キンギョソウ「カリヨンサーモン」、「アスリートイエロー」、「メリーランドライトピンク」、「メリーランドアップルブロッサム」を供試した。2002年8月20日に288穴セルトレイに播種し、定植9月10日、摘心は9月25日に本葉3節を残して行い、1株2.5本仕立てとした。

夜温管理（17:00～7:00）は、1番花収穫後2番花の芽整理までは10～13℃、2番花の芽整理後の1月6日

から発蕾が終了した1月20日までを15℃、以降開花までは10→8℃とし、切り花品質の向上を調査した。

2. 結果および考察

夜温管理を1番花収穫後に15℃に上げることによって2番花の花芽分化が促進された。発蕾後の8℃の低夜温管理が切り花品質を向上させると考えられた。

また、「カリヨンサーモン」、「アスリートイエロー」、「メリーランドライトピンク」は、1番花が11月から12月に開花し、2番花は3月に開花した。しかし、「メリーランドアップルブロッサム」は、3月までに2番花を開花させることはできなかった。

以上の結果、1番花収穫後2番花の発蕾までの期間を15℃で管理することにより2番花の花芽分化を促進し、3月に収穫することができる。また、この栽培法には、「カリヨンサーモン」、「アスリートイエロー」、「メリーランドライトピンク」等の早生品種が適すると考えられる。

第1表 開花時期別、階級別切り花本数

品 種	開 花 時 期	開 花 最 盛 期	階級別切り花本数（40株当たり）					10a 当たり 切り花本数
			3 L	2 L	L	M	計	
カリヨンサーモン	1番花	12/ 4～15	7本	34本	34本	20本	95本	57000本
	2番花	3/16～24	21	29	16	2	68	40800
	計		28	63	50	22	163	97800
アスリートイエロー	1番花	12/ 6～15	32	41	7	0	80	48000
	2番花	3 /24～31	29	26	10	2	67	40200
	計		61	67	17	2	147	88200
メリーランド ライトピンク	1番花	11/27～12/ 1	9	36	58	6	109	48000
	2番花	2 /28～3 / 3	10	66	15	0	91	40200
	計		19	102	73	6	200	88200
メリーランド アップルブロッサム	1番花	12/ 9～15	34	38	8	1	81	50400
	2番花	—	—	—	—	—	—	—
	計		34	38	8	1	81	50400

注) a) 3 L : 90cm 以上 2 L : 80～90cm L : 70～80cm M : 60～70cm。

b) 「メリーランド アップルブロッサム」の2番花は3月31日までの調査期間中には開花しなかった（栽培打ち切り）。